

桃咲く里

佐久市立平根小学校

学校だより7月号

令和6年7月24日

～1学期最終号～

文責：教頭 酒井 直治

「すごい、うまい、やってみたい！」

7月1日(月)には、第1回目のクラブ活動がありました。今年度は1回のクラブ活動の時間を90分間とし、年に3回行うようにして、子どもたちが活動に浸り込めるようにしました。クラブ活動のテーマを「本物と出会う」とし、8つあるクラブのうち6つのクラブで外部講師の方をお招きして、子どもたちと一緒に活動していただきました。迫力ある空手の演舞や試し割りを目の当たりにした子どもたちから歓声が上がったり、飲食店シェフから出汁のとり方を教えていただいて卵焼きを作って味わったりし、出来映えに驚いている様子が見られました。美容クラブでは、クラブ活動を朝から楽しみにしていた様子が見られ、美容師の方にヘアアレンジしてもらってとても嬉しそうにしていました。クラブ活動で多くの専門家をお招きできたことで、自分の好きなこと、興味のあることをより広げたり、深めたりすることができ、憧れの気持ちを抱いていた児童の姿が感じられました。第2回目は9月2日です。子どもたちには新たな出会いによって心躍る時間を過ごして欲しいなと思います。



絵画イラスト



空手



生き物



おもしろ実験



屋内スポーツ



お仕事



美容



屋外スポーツ(雨天のため変更)

「5年生のキャンプ学習」

7月10日から11日に、5年生が一泊二日でキャンプに行ってきました。1日目は、曇り空の下、学校から徒歩で出発し、平尾大社、守芳院を訪れ、平尾城と平尾山登山に挑みました。地元の歴史や自然について、ガイドの森泉かよ子さんから教えていただきながら、お互いに励まし合って全員登頂することができ、山頂での景色や昼食は忘れられない思い出となったようでした。夕方にはあいにく雨が降り出してしまいましたが、飯盒炊さんも上手いきき、おいしいカレーを食べることができました。キャンプファイヤーはキャンドルファイヤーとなりましたが、子どもたちは思い思いに楽しんでいました。

2日目は天候も良く、朝食づくりをしてから炊事場を片付けたり、体いっぱい使ってアスレチックやディスクゴルフを楽しんだりしました。一つ一つの活動を充実させることができ、良い思い出となりました。



平尾山山頂にて



望月少年自然の家にて



「予測困難な時代を生きる子どもたちに」～変わりゆく学びの方向性～

「VUKA（ブーカ）」という言葉が耳にされたことはありますか。今後の社会情勢が変動、不確定、複雑・曖昧なものに変化していくことを表す言葉であります。少子高齢化が進んで人手不足が顕著となり、今の仕事のおよそ半分をAIが担うと言われていています。また、新たな感染症や気象災害、国際情勢の不安定化等、予測困難な時代を今の子どもたちは生き抜いていくこととなるでしょう。故に学校教育は、子どもが自分の興味・関心に応じて自ら考え、仲間と協働的に課題を解決していこうとする素地を養っていく方向に転換を図っています。

そこで本校では、今年度より学校裁量の時間として、自ら学びを獲得していくことを目的とした「パラダイム」の時間を毎週金曜の5時間目に位置づけて授業研究を進めています。7月の授業参観の前にもお話しさせていただきましたが、日々の授業においても教師から教える、与えることを吟味精選して、子どもが自らの知識・経験を生かして課題を解決できる子どもの姿を願い、授業改善を図っています。19日（金）には4年生のクラスで校内研究授業が行われ、一人ひとりが自分で決めた学習課題を抱いて、一人で、または仲間と協働的に追究する姿が見られました。子どもたちは、国旗の模様は何を意味しているのか、津波はどんな仕組みで起きるか、早くタイピングできるようにしたいなど、個々に目的達成に向けて主体的に取り組んでいました。今後も、子どもの追究活動が停滞したり、学びの連続性が途切れてしまったりした時に、教師の支援はどうあったら良いのか、研鑽を深めていきたいと思えます。

「地域・保護者の皆様のお支え」

20日（土）には、コミュニティスクール運営委員の皆様のご協力のもと、校庭防葉ネットの修繕を行いました。本校は秋になると枯れ葉が舞い散り、校庭やプールなど、至る所に入ってしまうと毎年苦慮しているところではありますが、今回の修繕により枯れ葉の侵入を減らせることと期待しております。また、校庭児童館側の土を平らにならしていただき、校庭を広げていただきました。修繕用に購入したネットは、地域の方から搬入していただいているアルミ缶・ペットボトルを換金した予算から購入させていただきました。地域の方のご厚意により、学校施設環境を整えることができました。ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。



「お世話になった土屋先生 サマンサ先生 ありがとうございます」

過日、お便りでもお知らせいたしました算数・体育専科の土屋 剛先生が一身上の都合により、6月末をもってご退職となりました。また、外国語を教えていただいていたサマンサ先生が、7月18日（木）をもって平根小学校での勤務を終えられました。お昼の放送で全校に向けてお別れのメッセージをお話しいただき、その後は教室を回って下さって児童とのお別れを惜しんでいらっしゃいました。夏休み後には、上田方面の高校で勤務されるとのことで、行き会ったら声をかけて下さいとのことでした。新天地においてもご活躍を期待いたします。2学期以降は、イギリスから来日されるサラ先生がお勤めになります。どうぞよろしくお願いいたします。

児童生徒用「SOS相談窓口」のお知らせ

夏休み中、学校リフレッシュウィーク以外の日中は日直職員が勤務しておりますので、ご心配なことや事故等がございましたら学校へご連絡ください。そして、夏休み後に児童生徒の心身が安定しない様子が見られる報道が例年されています。子ども用相談窓口について紹介しますが、夏休み中のお子さんの見守りをお願いいたします。

- (1) 子供のSOSの相談窓口（文部科学省HP上）
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm
- (2) 24時間子供SOSダイヤル 0120-0-78310
<https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyoiku/shido/sodan/sodan.html>
- (3) LINE相談窓口「ひとりで悩まないで@長野」
<https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyoiku/shido/sodan/line.html>